

富医ニュース

No.615 令和4年10月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 藤岡 洋
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

新型コロナワクチン 集団接種ご協力のお願い



台風14号の後、季節が一つ進んだ様な今日この頃です。

さて、10月下旬頃よりオミクロン株対応2価ワクチン接種が、3町村、富田林市と順次開始予定となっております。国からも年末までの接種完了方針が示され、個別接種の拡大と共に再度集団接種の加速化が望まれます。日常診療に加え、コロナ診療、インフルエンザ予防接種等多忙とは存じますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

令和4年 9月定例理事会

日 時 令和4年9月9日(金) 13:30~15:00
場 所 医師会 大会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 休日診療所のコロナ抗原検査に関して
- 2) 新型コロナワクチン個別接種に関して
- 3) インフルエンザ予防接種について
- 4) オンライン請求について
- 5) 大阪府医師会役員・代議員会正副議長等の選挙結果
- 6) 麻薬施用者・管理者免許継続申請の提出について
- 7) 新型コロナウイルス感染症の療養期間の見直しについて
- 8) 後期高齢者窓口負担割合の見直しについて
- 9) 審査委員選出に関する特別委員会→藤岡会長
- 10) 南河内在宅医療懇話会→坂口先生
- 11) 医師会あすか会会長会→藤

岡会長

- 12) 糖尿病性腎症重症化予防に関する研修会・講演会
- 13) 感染症カンファレンスについて

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 千早赤阪村国保診療所に関して
- 3) 後期高齢者健康診査におけるフレイル健診について
- 4) 市民健康フォーラムの代替イベント参加について

富田林医師会学術講演会 (ハイブリッド形式)

日 時 令和4年10月6日(木)
開催形態 会場参加：医師会
大会議室 オンライン
参加：Zoom
特別講演 14:00~15:00
「ダバグリフロジンによるベスト心不全実地診療の実践と高カ

調 整 日

9月分 10月6日(木)
PM3:00まで

10月分 11月8日(火)
PM3:00まで

10月の予定

6日(木)・調整日
・学術講演会
(ハイブリッド)
14日(金)・理事会 13:30~
17日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会
21日(金)・広報調査委員会
25日(火)・広報調査委員会
(校正)



リウム血症治療におけるジルコ
ニウムシクロケイ酸Naへの期待」
座長 天城医院
天城 完二 先生
演者 阪和病院・阪和記念病院
統括院長/総長
北風 政史 先生

専門医より一言

脳卒中再発予防のためのシームレスな地域連携



～アテローム血栓性脳梗塞への
新しい治療選択肢
エフィエントの関わり～

近畿大学病院 脳卒中センター
教授 大槻 俊輔 先生

南河内堺泉北地区の脳卒中地域連携確立のため医師会の先生方、地域回復期及び維持期医療機関、コメディカルの多大な協力を得る僥倖により、脳卒中リハビリテーション症例検討会、脳卒中地域連携クリニカルカンファレンス、南河内圏域脳卒中クリニカルパス改訂、脳卒中フォーラム、脳卒中センターコア、そして脳卒中相談窓口と10年間にわたって、展開することができました。御礼申し上げます。脳卒中病前トリアージと救急搬送、脳卒中急性期治療も血栓溶解療法から血栓回収術、脳出血への降圧治療や止血治療がエビデンスに基づき確立されました。しかし、脳卒中は機能回復を得て回復しても再発率が病型により決して低いものではなく、アテローム血栓性脳梗塞の再発率は高止まりしており、今後の冠動脈疾患・末梢動脈疾患とともにアテローム

血栓症への治療は実地医家の先生方に負うことはますます増します。

抗血小板薬は脳梗塞急性期ではアスピリン+P2Y12阻害薬の2剤併用から、維持期はプラスグレル、シロスタゾール、クロピドグレル等の単剤へ移行します。

また、高血圧に対する24時間にわたる安定的な140/90mmHgもしくは130/80mmHg未満への降圧、脂質異常症への単なるスタチン投与だけではなく、LDLコレステロール値を100mg/dlもしくは70mg/dl未満としたターゲットとした強化厳格治療、一律的なHbA1cの低下という単純な目標ではない糖尿病へ長時間作用型GLP-1作動薬のクラス特有の利点を用いた介入という、これらの統括的治療が決め手となります。

安全性が高いにも関わらず最大の効果をたたき出す治療薬によりCOVID-19蔓延化時代における基礎疾患の安定化と再発による救急搬送を最小にする現在の潮流に乗った治療が考慮されます。

脳卒中治療ガイドライン2021に記載された点、また新刊である動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022の新たな推奨点を、プラスグレルの有効性と安全性も含めて紐解き解説しました。

後期高齢者広域連合の健康診査におけるフレイル健診について

会員の先生方には日頃から各種健診事業にご協力いただき、ありがとうございます。いわずもがなですが、超高齢化社会において介護や医療にかからないための予防措置は国策として重要とされています。介護の状態になる前の概念として、フレイル、ロコモ、サルコペニアなどいろいろありますが、フレイル健診が後期高齢者広域連合の健康診査に入ったことはご承知のことかと思えます。

身体的、精神的、社会的というフレイルのなかで、ウェイトが高いのは身体的フレイルによる運動機能の低下とされています。統計によると要支援認定者の1/3は運動器疾患あるいは骨折などの外傷。レセプト分析では医療費上位の3,9,10位は骨関節疾患と外傷。高額レセプトの患者数第1位は大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折ということです。コロナ禍で自宅待機を余儀なくさ

れたり、外出が怖くて籠る方も増えているいま、さらなる状況の悪化も懸念されます。

昨年から広域連合は介護予防事業の取り組みを行っている市町村に委託してフレイル健診の結果に対する具体的な取り組みをお願いすることとしています。大阪ではそこに府医師会が介入して、質問項目のなかから運動機能に関する項目を3項目とりだして、それに該当する受診者に勧告をすることとなっています。具体的には質問7,8,9がそれに該当します(図1)。

【▼図1】

身体的フレイルを把握するための項目

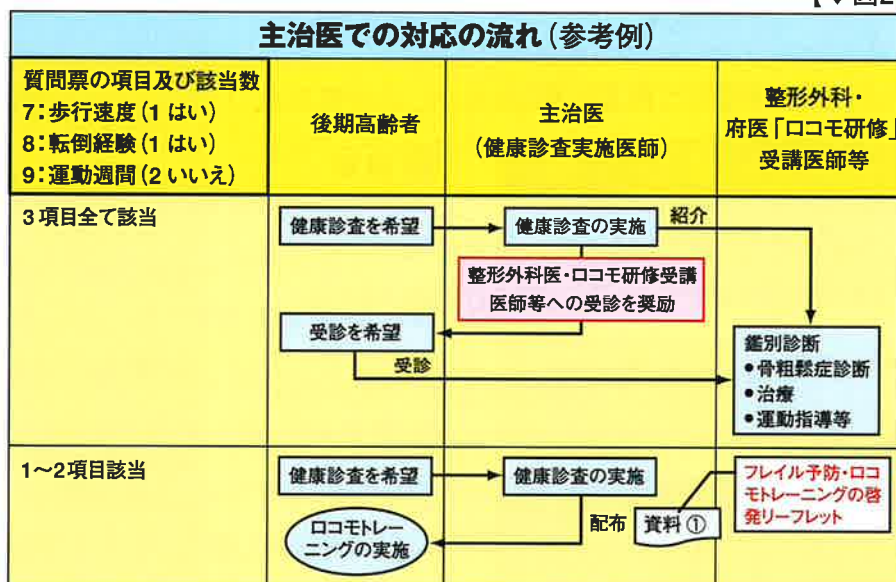
「後期高齢者の質問票」の項目		回答
7	以前と比べて歩く速度が遅くなってきたと思いませんか？	1 はい
8	この1年間に転んだことがありますか？	1 はい
9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか？	2 いいえ

7+8が運動機能低下を示唆する事象であり、9も該当することで、運動習慣低下に結びつく運動機能低下の存在を示唆している。

ここから、健診をされている先生方へのお願いがあります。

1. 歩行速度が落ちた、転倒したことがある、運動習慣がない、の3項目すべてに該当する場合、整形外科への受診を勧奨していただきたく思います。受診していただければ整形外科医が運動器の異常がないかをチェックし、ある場合は治療。ない場合はロコチェックなどの運動機能を評価して、適切な運動・体操指導を行います。(図2)

【▼図2】



2. 上記の3項目のうち、1,2項目だけ該当する場合、健診の先生方が指導できるリーフレットがあるのでそれを利用してご指導いただくことになっています。リーフレットは医師会事務局に言っていただければ準備いたします。他に、市町村から体操教室の案内や整形外科受診を勧める案内が郵送されるようです。(図3)

【▼図3】

身体的フレイルの抽出基準②(市町村での対応例)				
「後期高齢者の質問票」 項目7・8・9		絞り込み	健康診査の 受診者に占 める割合	対 応
①	2項目該当	次を除外 ①筋骨格系・結合組織 の疾患の治療者及び	6.1%	C D ・市町村による支援(個別的支援・集 团的支援のいずれかを検討) ・市町村から資料2(健康審査後の保 健事業のご案内)により説明 ・裏面を活用して、本人を通じて主治 医へ保健事業に参加する旨、情報 提供
	1項目該当	②要介護2以上	12.2%	
②	2項目該当	筋骨格系・結合組織 の疾患の治療者	16.3%	E F ・市町村から資料3(フレイル・ロコモ に関するリーフレットの送付について) を本人へ郵送 ・裏面を活用して、本人を通じて整形 外科主治医へ身体的フレイルに該 当した旨、情報提供
	1項目該当		29.8%	

ややこしい、あるいは教えるのは無理、と思われるのであれば質問7,8,9の歩行速度が落ちた、転倒したことがある、運動習慣がない、のどれかに該当される方には、整形外科でちゃんとみてもらってこけないように指導してもらおうように、と受診を勧めてもらうことでもいいかと思えます。

なお医師会にはこの内容に関する冊子とCDがありますので、お問い合わせいただければと思います。

整形外科医としては、内科の先生方のようにトータルに健診事業に貢献することは難しいですが、運動器の専門家は我々整形外科医ですし、依頼があれば積極的に介入したいと考えています。また、かかりつけの患者さんが先生方のところへずっと元気で歩いて受診していただく。その手助けができるのであればいいなと考えています。今後ともご指導ご協力のほど、よろしく願いいたします。(山本善哉)

バトンタッチ(第2回) 涙は俺のもの

年を取ると涙もろくなる。最近では夏の甲子園大会で優勝した仙台育英高校の監督インタビューを見て涙が出た。愛猫に膀胱結石ができたときも涙が出た。また思い出すと泣けることも増えていく。例えば近年の卒業式の定番曲「旅立ちの日に」を思い出すと確実に泣く。そ

んな泣ける出来事の中から思いつくまま文章にしてみたい。

2011年3月11日、東日本大震災が起こった。被災地の避難場所ではラジオから頻回に「アンパンマンのマーチ」が流れ、子供たちは自然に合唱し、大人もつられて口ずさむ人が多かったという。歌詞を一部引用する。

そうだ うれしいんだ 生きるよろこび たとえ胸の傷がいたんでも

なんのために生まれてなにをして生きるのか

9月行事・会合

8日(木)・調整日

・学術講演会(ハイブリッド)

9日(金)・理事会

12日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

22日(木)・広報調査委員会

27日(火)・休日診療委員会

・広報調査委員会(校正)

・感染症対策委員会

・外来感染症対策カンファレンス



こたえられないなんて そんなのはいやだ!
50歳になっても私はこの問いかけに即答することができない。情けないことである。

「アンパンマンのマーチ」が復興のテーマソングのようになったことを受けて作者のやなせたかし氏が被災地に向けて空飛ぶアンパンマンの絵と共にメッセージを送った。これは全文引用する。

おそれるな がんばるんだ 勇気の花がひらくとき
ほくが空をとんでいくから きっと君を助けるから

これはやなせたかしの言葉というよりアンパンマンが発した言葉である。子供たちはこのメッセージを受け取り、助けられる自分より回りの人を助ける自分をイメージしたに違いない。目の前の「君」を助けるために勇気の花を開かせたに違いない。

親に先立って死んだ子供は徳を積んでいないため賽の河原で苦行を強いられるという俗信がある。この子供たちを救済するのがお地蔵さんである。生と死が隣り合った避難所で大人にはお地蔵さんとアンパンマンのイメージが重なったに違いない。生者も死者も、何があってもきっとアンパンマンが助けてくれる。これはひとつの信仰である。

弥勒菩薩は釈迦入滅より56億7千万年後にこの世に現れ、悟りを開き、多くの衆生を救済するといわれている。それより先んじること、釈迦入滅より2555年後に日本の東北地方において地蔵菩薩はアンパンマンに化身し、顕現した。

(H.Nakamura)



○会員数(10月1日現在) 171名

A会員 94名 B会員 76名 C会員 1名

○入会 8月24日

山田 光成(富田林病院 消化器内科)

○退会 8月31日

坂田 幹樹(結のぞみ病院)

9月30日

白 亮(PL病院)

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀 雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文